

# 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

聖賢小	学校
-----	----

児童数	70
-----	----

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.00	17.75	28.86	36.15	40.50	9.67	136.75	18.88	47.70
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	14.55	20.97	36.63	35.06	38.07	9.83	136.26	13.11	51.21
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

### 結果の概要

男女ともに「体力合計点」が、全国・大阪市平均を下回る結果となった。「長座体前屈」「反復横とび」「立ち幅とび」が男女ともに全国・大阪市平均に満たさず、特に男子においては「握力」以外全ての項目が、全国・大阪平均より下回った。しかし、「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目では、男子の回答は「好き」が「やや好き」で100%となっている。女子は「やや嫌い」「嫌い」が16.1%と否定的な回答もあるが、「上体起こし」「20mシャトルラン」が全国・大阪市平均をともに、「ソフトボール投げ」は全国平均は同じだが、大阪市平均を上回った。

1週間の総運動時間（60分未満）割合は、男子12.1%、女子13.3%である。男子の全国平均（9.8%）と大阪市平均（11.7%）と比較して、運動をしていない児童が多いことがわかる。その反面、女子の全国平均（17.3%）と大阪市平均（20%）と比較して、運動をしている児童が多いことがわかる結果となった。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

男女ともに、「運動やスポーツをすることが好きですか」「体育の授業は楽しいですか」への回答は肯定的だが、体力・運動能力の結果に繁栄されていない。運営の計画「未来を切り拓く学力・体力の向上」の目標として、年間2回50m走を計測し、走る運動への意欲を高め、走力の向上を目指した。しかし、男女ともに、改善が見られなかった。校内での取り組みでは、体力向上のため、「かけ足週間」を実施。15分休憩に各自のペースで運動場を走る時間を設け、無理のない持続走にした。かけ足カードを配付し、目標周数を設定させ、走った周数を記録することで主体的に取り組める工夫を行った。

今後は、体育授業の導入段階で毎時間3分間の柔軟運動（股関節・ハムストリング中心）を行い、短時間で素早い動きを繰り返す、前後左右のステップなどを主運動前に取り入れ敏捷性を高めていく。瞬発力向上では、両足ジャンプ遊び、短距離ダッシュゲーム等を単元に入れ、計画的に行う。また休み時間の外遊びを促すため、運動カードの活用や学級での外遊び目標設定を行い、日常的な運動量の確保を図ることで、特定の種目だけでなく総合的な体力向上を目指す。

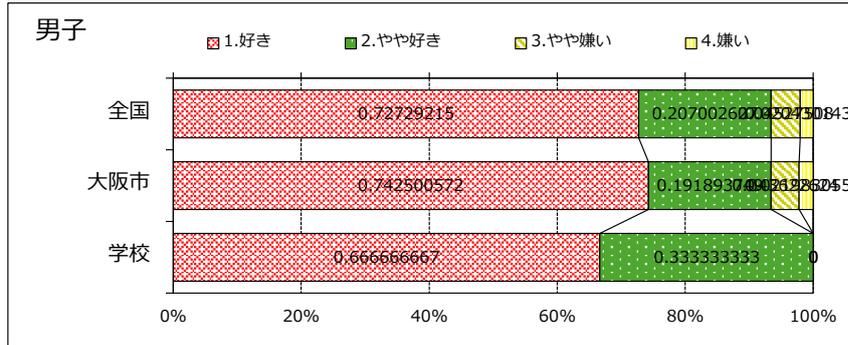
# 運動やスポーツについて(男子)

検証シート: 各校で必要に応じて作成してください

## 本校の特徴的な結果

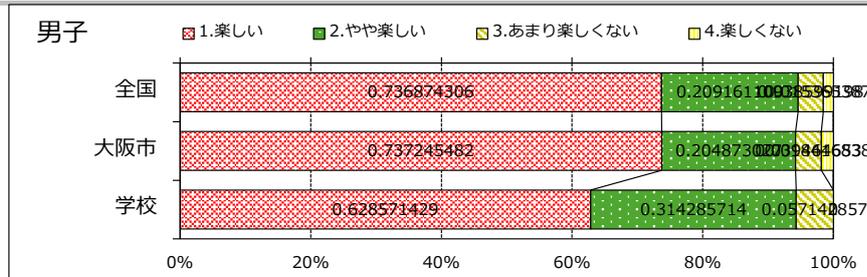
### 検証項目1

運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。



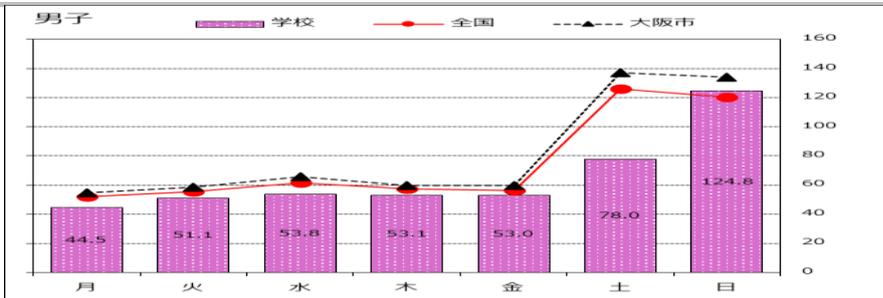
### 検証項目2

体育の授業は楽しいですか



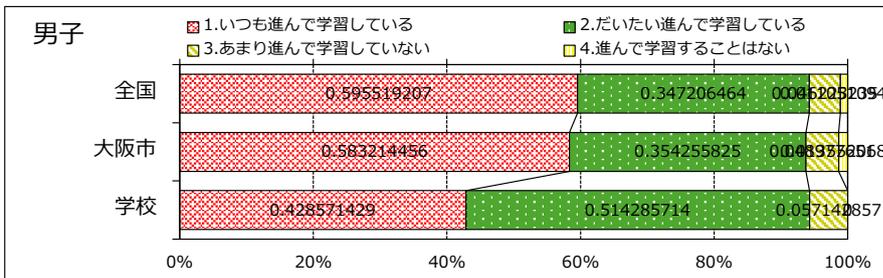
### 検証項目3

学校の体育の授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。



### 検証項目4

体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



## 成果と課題

「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目では、「やや嫌い」「嫌い」が0%で、否定的な児童がいなかった。「体育の授業では、進んで学習に参加していますか」では「いつも進んで学習している」「だいたい進んで学習している」と肯定的回答が約95%と高く、男子の学習意欲は全体として高い。しかし、体力・運動能力の結果は、全国・大阪市平均を「握力」以外は下回る結果だった。

## 今後の取組

体育の時間を楽しいと感じている児童が多く、引き続き児童が興味をもてる授業改善は体育部を中心に考え、生涯スポーツを進めていけるように指導をしていく。運動量を確保するため、活動時間を多く取り入れているため、休んでいる児童はいない。体力・能力向上につなげていく場の設定や学習ノートの活用を工夫しながら単元計画を立て、実践していく。

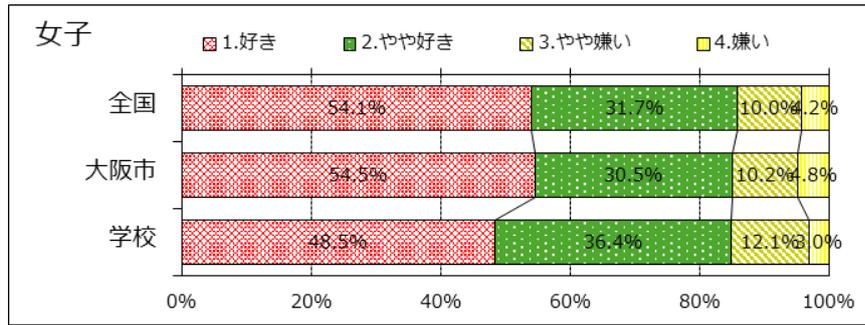
# 運動やスポーツについて(女子)

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

## 本校の特徴的な結果

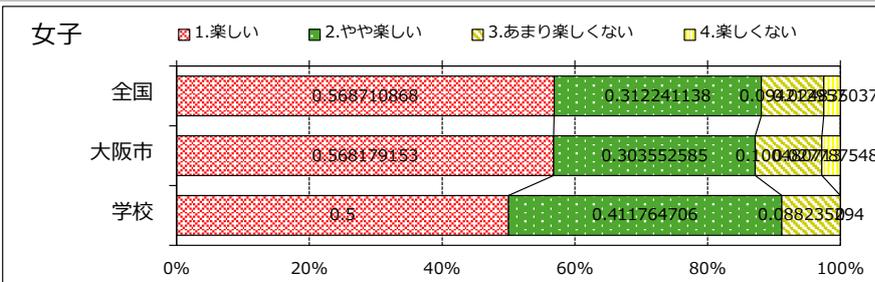
### 検証項目1

運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。



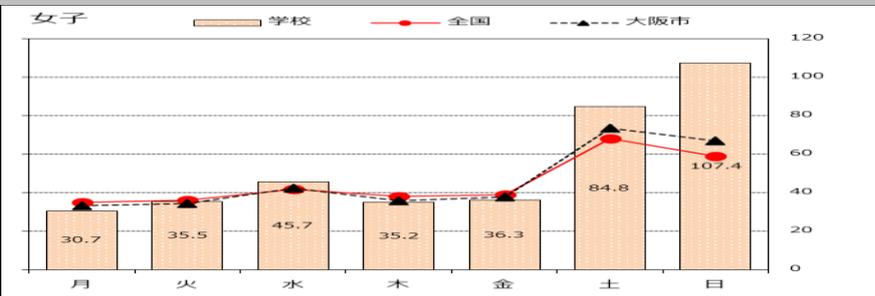
### 検証項目2

体育の授業は楽しいですか



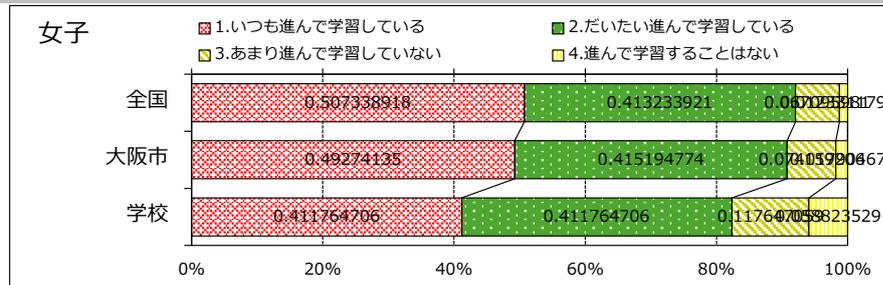
### 検証項目3

学校の体育の授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。



### 検証項目4

体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



## 成果と課題

「体育の授業が楽しいですか」の項目で「楽しい」と回答した児童は、大阪市平均・全国平均より6ポイント、「体育の授業に進んで学習に参加していますか」は全国平均より10ポイント低い。1週間に運動している時間も、大阪市・全国平均より多く特に週末に運動している児童が多いことから、体育の学習を通して、縄跳び運動や駆け足など、継続的な実践を積み重ねていくことが必要だ。

## 今後の取組

体を動かすことに否定的な児童が少ないが、体育の学習への参加の仕方や運動をすることを大切に思っていない児童が多い。体を動かすことだけでなく、理論的な部分も取り入れる。45分の授業計画をしっかり立て、知識と運動量を向上させる。運動時間の確保しているものの、高学年女子に見られる恥ずかしさからか、動きが小さい、少ない児童が意欲的に取り組み、活動量の多くなるゲーム的な運動も取り入れていく。